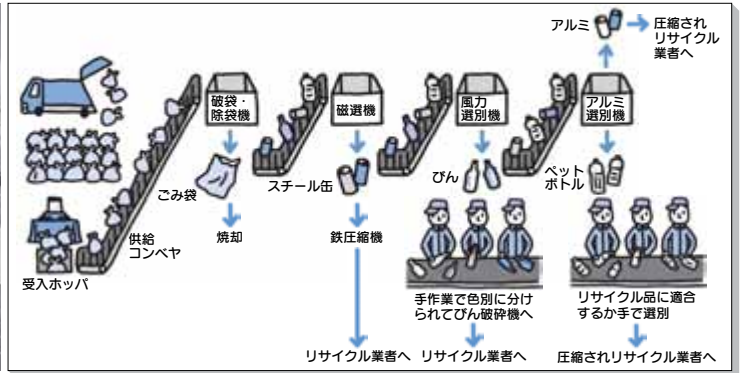


～資源ごみ（びん・缶・ペットボトル）のゆくえ～



資 源ごみ（びん・缶・ペットボトル）を選別処理している**駒岡資源選別センター**（⑨）では、びんを3種類（無色・茶色・その他の色）、缶を2種類（アルミ・スチール）、そしてペットボトルの計6種類に分別します。

各ごみステーションから収集車で集められた資源ごみは、まず、計量後プラットホームに集められ（⑩）（⑪）、受入ホッパへ投入されます（⑫）。供給コンベヤ（⑬）で選別設備へ運ばれた資源ごみは、「破袋・除袋機」でビニール袋を取り除かれた後、「磁選機」でスチール缶が除かれ、「風力選別機」でびんとペットボトル・アルミ缶に分けられます。びんとペットボトルについては、職員が一つ一つリサイクル品に適合するかどうかを見分けながら手作業で選別（⑭）。最後に、圧縮梱包したものをリサイクル業者に引き取ってもらいます（⑮）。

◆ ◆ ◆
同センターの小林勝所長は「ペットボトルにキャップやラベルがついていたり、中身が残っていたりすると、リサ

施設見学を受け付けています。詳細は下記施設へ。

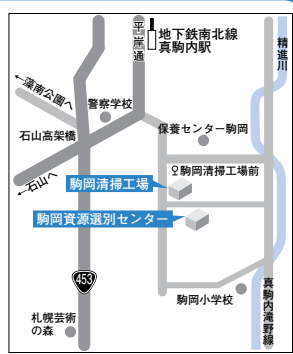
●駒岡清掃工場 ☎582-9733

所在地 南区真駒内602番地

●駒岡資源選別センター ☎588-3753

所在地 南区真駒内129番地30

※交通機関は、地下鉄南北線「真駒内駅」から中央バス滝野線南92「駒岡清掃工場前」にて下車。



イクルの品質基準に適合せず、やむを得ず焼却処理を行わなければならない場合もありますので、皆さまのご協力をお願いします。7月に新しいごみルールが始まってからは、みルールの周知が進み、多くの方にルールを守っていただいています」と笑顔で話します。

